

2021 第6回 山形県信用金庫協会杯 U-11 山形県大会 開催要項

1. 主 催：NPO法人山形県サッカー協会
2. 主 管：山形県サッカー協会4種委員会・鶴岡地区サッカー協会4種委員会
3. 協 賛：山形県信用金庫協会・㈱モルテン
4. 目 的：山形県内の少年サッカー技術の向上とサッカーを通して心身の健全育成と親睦を図る。
5. 期 日：2021年11月13日(土)～14日(日)
6. 会 場：庄内空港緩衝緑地多目的広場・庄内町八幡スポーツ公園サッカー場
7. 参加資格：
 - ①公益財団法人日本サッカー協会（以下、JFAという）第4種に加盟登録し、スポーツ傷害保険等に加入していること。
 - ②小学5年生以下の単一チームで構成されていること。
 - ③参加選手は、原則としてJFAの発行した加盟チームの選手登録証を持参すること。
 - ※選手証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
 - ④引率指導者は、参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員は2人以上3人までとし、内1人以上がJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。原則としてJFAの発行した公認指導者ライセンス証（写真付、各チームで印刷）を持参すること。
 - ※公認指導者ライセンス証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
 - ※本大会は「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン」(https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html)及び「試合の再開について」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知遵守の上、参加してください。参加チームは「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会大会参加者健康チェック表チーム用」2部を記入作成し、監督会議まで大会本部に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は、選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等も含めて作成してください。
8. 参加チーム：各地区予選を勝ち進んだ地区代表24チーム
9. チーム構成：引率指導者3人（監督1・コーチ2）選手20人以内とする。
10. 組み合わせ：別途組み合わせとする。
11. 競技規則：
 - ①JFA「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」によるが、詳細は委員会で決定する。
 - ②選手登録は20人以内とし、1チーム8人の競技者によって行われる。（8人に満たない場合は試合を行わず、得点を0-5として敗戦したものとみなす）
チームの競技者のうち、1人はゴールキーパーとする。
 - ③登録できる交代要員及び交代の最大人数は8人とし、後退して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - ④コールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
 - ⑤試合中、不慮の事故等で選手が6人以下になった場合は、試合中止（棄権/0-5）とする。
 - ⑥試合球は、チーム持ち寄りとする。
 - ⑦グラウンドの広さは68m×50mとする。ゴールは少年用を使用する。
 - ⑧アディショナルタイム表示は行わない。飲水はインターバルで行う。グリーンカードを導入する。
12. 警告・退場：
 - ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
 - ②本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会規律委員会で決定する。
 - ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
 - ④その他詳細については、本大会規律委員会で審議し当該チーム及び選手に通知する。
 - ⑤ベンチ（役員）が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行った場合、主審の判断により、警告又は退場とする。

13. 試合方法：①試合時間は、前後半ともに20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
 ②予選リーグ：24チームを3チームの8ブロックに分けリーグ戦とする。リーグ戦の順位決定方法は、勝3点、引分1点、負0点とし、同点の場合は、得失点差、総得点、当該対戦、PKの順で決定する。
 ③決勝トーナメント：予選リーグ各ブロック1位チームによるトーナメント戦を行う。既定の試合時間内に勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。PK戦は3人で行い、その後はサドンデスとする。ただし、決勝戦のみ前後半5分ずつの延長戦を行い、それでも決しない場合は、PK方式により勝者を決定する。
 ④ベンチには、エントリメンバーの他2人以上3人までとし、ベンチサイドでの応援は禁止とする。
 ⑤ベンチはコートに向かって左側が、予選リーグでは若い番号のチームが、決勝トーナメントではトーナメント表の左のチームとする。
 ⑥4人制審判とし、帯同審判割当により行う。
14. 表彰：◎優勝／賞状・優勝カップ ◎準決勝／賞状・楯 ◎第3位／賞状・楯 ◎第4位／賞状・楯
15. 参加申込及び連絡先
 参加チームは、大会プログラム用メンバー表を11月1日(月)17:00(期限厳守)まで下記宛に提出すること。
 提出先 E-mail: mittsu@kcf.biglobe.ne.jp
 連絡先 鶴岡地区サッカー協会4種委員会 阿部三成
16. 参加料：1チーム 5,000円(大会当日納入してください)
17. 競技者のユニフォーム
 ①JFA「ユニフォーム規程」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 ③選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。ただし、背番号は1～99番とする。
 ④ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
 ⑤ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスは、フィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 ⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 ⑦前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
 ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 ⑨アンダーシャツ、ショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
18. その他：①各チーム帯同審判2人(1人は3級以上の資格を有する)を準備すること。帯同審判については、担当試合前に大会本部に審判証を提示して本人確認を行うこととする。
 ※審判証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
 ②本大会の実施に関して、本大会要項に定めがない事項については、大会本部が最終的に決定するものとする。また、不測の事態・事項が発生した場合、大会本部にて協議し判断する。
 ③本大会参加中は、試合中に限らず、人道的に不可解な言動や暴力、暴言等があった場合は、大会規律委員会において事実を確認し処分の対象とする。
19. 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について
 ①大会中における怪我等については、各チームの責任に帰するものとする。
 ②災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。
20. 監督会議及び競技開始
 11月13日(土) AM 9:00 監督会議 会場ごとに行います。
 AM 9:30 競技開始 開会式は行いません。
 11月14日(日) AM 9:00 監督会議
21. 閉会式及び表彰式
 11月14日(日) PM 3:00 庄内空港緩衝緑地多目的広場

試合の開催について ※基本的にすべての行動での三密は避ける

【会場】

- ①防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営管理者以外立ち入り禁止とする。
- ②基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。
「新しい生活様式」を守り、チーム毎まとまっての観戦や発声はしない。
- ③各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず、感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ④駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

【試合開始】

- ①用具チェック 通常通り試合前に行く。
- ②セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

【試合中】

- ①得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ②ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いに距離についてしっかりと配慮する。

【ベンチ内】

- ①三密を避けた行動を心がける。
- ②指導者も含め、むやみに大声を出さない。
- ③選手、本部、審判も含め、飲料水は個人で準備し、各人の責任において処理をする。

【試合終了後】

- ①セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ②ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ③スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせる。
 - ・体調が良くない場合。（例：発熱・咳などの症状がある場合）
 - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
 - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
 - ・可能な限り、小グループでの移動を心がけ、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
 - ・飲水ボトルを共有しない。（各自個人毎の準備）
 - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。（密閉すること）
 - ・会場内にじゅんぴしてある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
 - ・プレー中以外はマスク着用のこと。（熱中症が懸念される状況下では、距離を保った上でマスクを外す）
 - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
 - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。